



Junior Drive
Shiraishi Racing School

REPORT

報告書

12月 2日 (金)

岡国フォーミュラトレーニング

12月12日 (月)

舞洲フォーミュラトレーニング

12月18日 (日)

岡国フォーミュラトレーニング

12²⁰²² DEC





8℃

Track
OKAYAMA

Driver
Yuma Sugita

★トレーニングプログラム

- 09:05～ 乗り込み準備 & ミラー調整
09:15～ フォーミュラ走行枠① 30分 ドライバー: Yuma Sugita
09:55～ ロガー & 車載映像 解析
11:05～ 乗り込み準備 & ミラー調整
11:15～ フォーミュラ走行枠② 30分 ドライバー: Yuma Sugita
11:55～ ロガー & 車載映像 解析
13:10～ 乗り込み準備 & ミラー調整
13:20～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー: Yuma Sugita
13:55～ ロガー & 車載映像 解析
15:15～ 乗り込み準備 & ミラー調整
15:25～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー: Yuma Sugita
16:00～ ロガー & 車載映像 解析
16:30 解散

- School Car -

Super-FJ

全長/全幅 3,935mm/1,700mm
車重: 420kg
エンジン: 1500cc/130ps/7000rpm
ミッション: ドグミッションHパターン5速
最高速: 220km/h



目には見えないコンディションの変化

2期生の杉田がトレーニングに参加しました。冬も本番に入り、朝の路面は非常に冷たく、タイヤのウォームアップが難しい季節がやってきました。

この日は30分×4本のセッションが予定されており、それぞれのセッションで杉田がこなさなければならない課題があります。走行を終えてはデータを見直して、新たな課題を発見する。これの繰り返すことで、ドライビングを向上させていきます。

また、1日を通してマシンもタイヤも路面も刻々と変化していきます。燃料が減るとマシンのバランスは変わり、タイヤはもちろん摩耗してグリップ力が低下していきます。路面は日によって大きく異なり、グリップ力のある部分とそうでない部分が時間が経つと変化します。この状況下に、素早く適応しながら、自らの課題に取り組まなければなりません。

杉田は目立ったミスなく、自らの課題克服のため30分間のセッションを無事に周回していきます。しかし最後の4枠目でタイヤのグリップが低くなった状態での走らせ方に課題が見つかりました。タイヤの冷えている時や雨の時にも有効なテクニックなので、次回以降これらを克服できるようになってもらいたいです。





11℃

Track
MAISHIMA

Driver
Kamui Hashiramoto/Haein Hwang/Tomo Onohara

★トレーニングプログラム

- 9：45～ 集合（広場現地にて）
- 10：00～ 脱出訓練（5秒以内にマシンから降りる練習）
- 10：15～ ドグミッション慣熟走行① 10分×3名 ロングストレート 3速ギヤまで
- 11：00～ ドグミッション慣熟走行② 10分×3名 ロングストレート 4速ギヤまで
- 12：00～ 昼休憩
- 13：00～ Aコース練習走行① 10分×3名
- 13：45～ Aコース練習走行② 10分×3名
- 14：30～ Aコース練習走行③ 10分×3名
- 15：15～ ロガーチェック
- 15：30～ Aコースタイム計測走行 5分×3名
- 16：00～ ロガーチェック
- 16：15～ コース清掃 & 車両ワックスかけ
- 17：00 解散

- School Car -

Super-FJ



全長/全幅 3,935mm/1,700mm
車重：420kg
エンジン：1500cc/130ps/7000rpm
ミッション：ドグミッションHパターン5速
最高速：220km/h

フォーミュラに慣れ始めた3期生たち

3期生たちのフォーミュラトレーニングが行われました。ドライバーは柱本翔夢伊（12）、ファン・ヘイン（10）、小野原智（10）の3名が参加しました。これが3期生にとって3回目のフォーミュラトレーニングとなります。早くも背が伸びたことにより、全員がヘルメットの位置が高くなったように見えます。脱出訓練も少しずつ慣れてきて、これまでの脱出時間を短縮できました。

そして走行に移ります。午前中はコースの直線区間を使い、シフト操作の訓練を重点的に行いました。午後からサーキットトレーニングに移ります。決められたコースを周回して、修正箇所を見つけラップタイムを短縮していきます。前回トップタイムで終えた柱本が、この日も好調な走りを見せ、特にシフト操作が飛躍的に向上し自信をつけました。打って変わって小野原は前回、他を驚かせるほどのシフト操作を見せていましたが、この日は上手く噛み合わずシフトに苦労する場面が見られました。ファンはシフトダウンにやや不安を抱える場面がありましたが、徐々に克服し成功率を高めていきました。今日これまでのデータを見直し、この日の練習の成果を終結させる最後の5分タイムアタックが始まります。まずは柱本がこの日の好調さを象徴する好タイムを記録します。前回から1.2秒もタイムを削り、良い形でこの日を終わりました。小野原は何とか1周を纏め切り自己ベストタイムを更新できました。ファンはビックブレーキングが3人の中で最も優れてはいるものの、シフトダウンがまだクリアできず課題を残しました。





5℃

Track
OKAYAMA

Driver
Yuzuki Miura/Yuma Sugita

★トレーニングプログラム

- 09:20～ 乗り込み準備 & ミラー調整
09:30～ フォーミュラ走行枠① 30分 ドライバー：Yuma Sugita
10:05～ ロガー & 車載映像 解析
14:20～ 乗り込み準備 & ミラー調整
11:30～ フォーミュラ走行枠② 30分 ドライバー：Yuzuki Miura
12:05～ ロガー & 車載映像 解析
13:20～ 乗り込み準備 & ミラー調整
13:30～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー：Yuma Sugita
14:05～ ロガー & 車載映像 解析
15:25～ 乗り込み準備 & ミラー調整
15:35～ フォーミュラ走行枠④ 30分 ドライバー：Yuzuki Miura
16:10～ ロガー & 車載映像 解析
16:30 解散

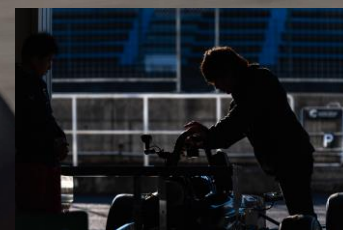
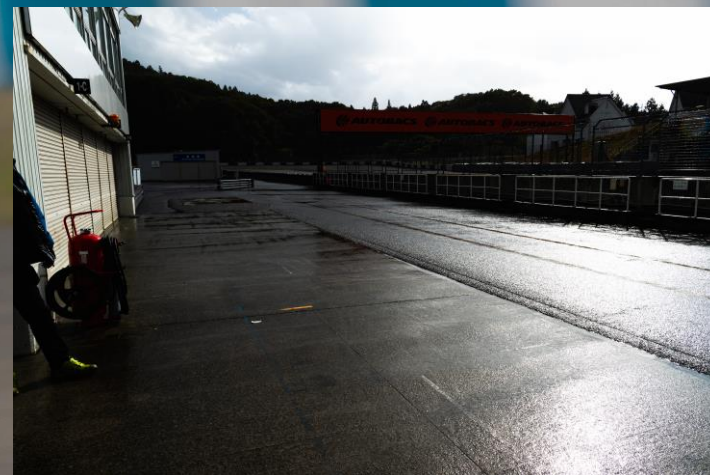


天気に左右された日

この日は1期生の三浦と2期生の杉田がトレーニングに参加しました。この日は非常に気温が低く、路面が凍結したことにより開始時間が2時間延期となり、予定されていた走行時間が半分となってしまいました。

2時間遅れでフォーミュラの1本目の走行セッションがスタートしました。ドライバーは杉田。路面はほぼドライコンディションでスリックタイヤで出ていきました。タイヤが温まらない難しい状況の中、何とかクルマを前に進め、グリップを確かめながら走行を続けました。そしてセッション半ばから、次第にタイヤにも熱が入りペースが上がっていきました。コンディションとタイヤの状況を考えれば、まずまずのタイムをマークし30分間のセッションを走り切りました。

2枠目は三浦がドライブ。三浦は前日まで韓国でのフォーミュラテストを終え、そのまま直接岡山へとやってきました。しかしセッション開始と同時に雪が降り始め、せっかく乾いた路面を濡らしてしまいました。雪の量は多く、スリックではコントロール不能になり得るほどコンディションが悪化したため、ピットインしてレインタイヤに交換しました。無事に走り切りはしたものの、期待していたラップタイムを出せる状況にはならず、この日のセッションは終了となりました。



Yuma - SUGITA (13)

2022年で最も成長を見せたのは杉田かもしれません。思い返せば、今年の5月に岡山国際サーキットでライセンスを取得し、わずか半年でここまで成長することができました。来季はさらに上のステップのトレーニングメニューでドライバーとしての腕を磨いていってほしいです。



Yuzuki - MIURA (15)

今年も悔し涙を流し、さらに強くなった三浦。今年前半は1期生の小野原と。そして後半は2期生の杉田と。ライバルが変わる中で、良い経験や悔しい思いをしてきたと思います。彼にとって来年はプロになるために非常に重要な1年になりますので、ここで培った経験を活かしてレースデビューしてほしいです。



DRIVERS PERFORMANCE Gin.3



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38
Luce ed ombra



Kamui - HASHIRAMOTO (12) Best 42.641

発進/シフト/コーナーリング、すべてにおいて圧倒する走りを見せた柱本。ここで満足せず、後ろをさらに引き離すほどの強い気持ちを持ってトレーニングに励んでもらいたいです。



Hæin - HWANG (10) Best 44.563

前回とは、また異なる課題が見つかったファン。ほんのわずかな感覚の調整で、大きく飛躍できる課題なので、次回までに修正できると勢力図が大きく動く可能性があります。



Tomo - ONOHARA (10) Best 45.972

前回のトレーニングではシフト操作の上手さが目立った小野原ですが、今回はリズムを掴むことができず最後まで苦戦が続きました。次回、もしまた同じ状況になっても、その日に修正できるメンタリティが今の彼には必要になります。



【トレーニングを終えて】

2022年すべてのトレーニングを無事に終えることができました。

春には2期生たちが岡山でのライセンステストを受け、ついに国際サーキットデビューを果たしました。

初夏には、その岡山で大きなクラッシュがありました。

夏の終わりには、小学生メンバーの3期生たちが舞洲でフォーミュラデビューを果たしました。

1年間さまざまなことがありましたが、今日まで無事に運営できているのも賛同して下さる方々のお蔭以外ありません。

これからも成長し続けるジュニアドライバーたちを温かい目で見守っていただけますと幸いです。

今年一年間、本当にありがとうございました。

Junior Drive講師 白石勇樹





Junior Drive
Shiraishi Racing School

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38
Luce ed ombra



Artisanal by La Rapina Garage Club



Junior Drive
Shiraishi Racing School

